

世界けん玉フリースタイル選手権競技要領

- 1 予選（動画による審査及び当日実技による審査の2段階）を行い決勝進出者を選出。招待選手（予選免除）2名を含めた16名により決勝（Gp戦及び決勝戦）を実施
- 2 自由演技、16型けん玉（協会認証けん玉または本大会協賛企業取扱いけん玉）1本（糸つき）、音楽使用可（ただし、著作権を有する曲を使用する場合は元の曲をそのまま使用すること。）
- 3 参加要領
 - (1) 参加資格等
 - ア 参加資格 中学生（海外13才）以上
 - イ 参加費 3,000円（事前申込。なお、3,000円で「世界けん玉道選手権 ～藤原一生杯～」 「世界けん玉フリースタイル選手権」及び「スキルチャレンジ」に参加可）
 - (2) 大会参加申込用紙に必要事項を記入の上、FAX、メール、または郵送にて（公社）日本けん玉協会事務局まで。
 - ア 払込先：ゆうちょ銀行 □座記号：00100=8 □座番号64694 日本けん玉協会
 - イ 様式：JKA ワールドオープンけん玉フェスタ 2015 参加申し込み用紙
 - ウ 締切：平成27年8月14日（金）
 - (3) 予選（動画による審査）参加希望者は、後述する要領により動画を提出し、参加
- 4 予選
 - (1) 動画による審査
 - ア 予選通過者（動画） 8名
 - イ 動画提出要領
 - (ア) YouTube、Facebook、Vimeoのいずれかに動画をUPし、氏名及び動画サイトのリンクを記入し、JKA事務局へメールする。この際、提出期限内であれば動画提出本数は問わない。ただし、審査対象は最新のもの1本とする。
 - (イ) 締切 平成27年8月21日（金）
 - ウ 応募定数 なし。
 - エ 決勝進出者の発表 平成27年8月31日（月）
 - (2) 当日実技による審査
 - ア 予選通過者（実技） 6名基準
 - イ 応募定数 30名 受付者の発表 9月7日（月）
応募者多数の場合は抽選による。なお、抽選に漏れた者についても、若干名の補欠受付者を発表し、大会当日の欠員の補充に備える。
※ フリスタだけの参加者で予選参加できない者は返金します。
 - ウ 江戸舞台において90秒の自由演技を行い、審査する。
 - エ 決勝進出者の発表 9月13日（日）12:00（予定）

5 決勝

- (1) 決勝進出者16名を抽選により4コGp（各4名）に区分する。この際、招待選手を各Gpに1名ずつ配置する。各Gpの勝者1名を決勝戦進出とする。
- (2) 決勝戦を行い、優勝から3位までを決定する。

6 演技要領

(1) 演技時間

- ア 予選 動画による審査：90秒のルーティンを連続2回（ノーカットで撮影したものを投稿）
当日実技による審査：90秒
- イ 決勝 Gp戦、決勝戦ともに90秒

(2) 要素

「静止」「フリップ（風車、つむじ風）」「スワップ（持ちかえ）、ジャグリング」「インスタ・タップ」「ストリング」の5つの要素を全て入れること

「静止」の形は、「灯台」「うぐいす」「月面着陸」「たけうま」「極意」の形（逆、裏等は問わない）のいずれかとする。

※「さるのこしかけ」も可

(3) 技の最後の形を、「玉がけんに収まった状態」「けんが玉に収まった状態」または「静止の状態」のいずれかにすること

ア 「玉がけんに収まった状態」「けんが玉に収まった状態」を各2回以上行うこと。

この際、それぞれの状態の最後は、けん、玉及び体を一旦静止等して、「1-2-3」等の連続技との違いを明確にすること。

イ 「静止の状態」を1回以上行うこと。

この際、「静止」は、けん、玉及び体が約3秒以上静止すること（約3秒静止後にけんにはさす等した場合も、「静止の状態」を行ったものとみなす。）。ただし、3秒静止未満を相対評価上のマイナス要因とし、1秒未満を失敗とする。

7 審査要領

(1) 審査基準に基づき、各審判がそれぞれの区分毎にプレイヤー毎の相対評価を行い、これを採点・集計する。

(2) 審査基準

ア 「技術」及び「魅力度」を判定し、違反行為分を減点して審査する。この際、「技術」と「魅力度」の比率を概ね7：3とする。

イ 技術

(ア) 技の系統とその数、技の難易度・完成度（確実性・美しさ）を判定する。

(イ) 確実性：1つの技の試技は3回まで。失敗数を技術における相対評価上のマイナス要因とする（2回目の成功は70%、3回目の成功は50%換算（イメージ））。

(ウ) 美しさ：技のフィニッシュが明確であること。体のバランスが保たれていること。動きに無駄がなく、スムーズであること（過度の持ち（握り）替え等は技術における相対評価上のマイナス要因とする。）

ウ 魅力度

パフォーマンスの楽しさ、創造性、曲調と技の構成との調和等を判定する。

エ 違反行為

- ・ 周辺に危害を及ぼす恐れのあるけん玉の落下を技術・魅力度において、演技の流れを大きく損なう落下を魅力度における相対評価上のマイナス要因とする。
- ・ 時間超過・不足・中断 10秒毎に魅力度における相対評価上のマイナス要因とする。（10%減（イメージ））
- ・ ひざ下を使用した蹴り技を、物品愛護、安全管理等の点から魅力度における相対評価上のマイナス要因とする。（大腿部を使用したりフティング等は可）
- ・ 品性に欠ける態度等
- ・ その他（危険行為、品位の欠如、運営に影響を及ぼす事項等）

(3) 予 選

ア 動画による審査：動画審査員により審査する。

イ 当日実技による審査：審査員8名の審査員により審査し、審査員の投票により上位者を決勝進出とする。

※ 通過者数と同数の票を各審査員が保持し投票する。

(4) 決 勝

ア 細部審判要領

(ア) 実技者1名に対し、4～8名の審査員により審査する。

(イ) 審判員は、「技術」「技術・魅力度」「魅力度」の3種類とし、各審判はそれぞれ担当する「技術」「魅力度」について、選手の順位を判定する（相対評価）。

(ウ) 各審判員が判定した順位を点数とし、点数の最も少ない者を上位として最終順位を決定する。

イ Gp戦は「技術」審判2名、「技術・魅力度」審判1名、「魅力度」審判1名の計4名、決勝戦は各審判を倍の人数、計8名で行う。

ウ 「技術」審判の保有する「技術」点を3倍、「魅力度」審判の保有する「魅力」点を2倍、「技術・魅力度」審判の保有する「技術」点及び「魅力度」点を1倍とする。

【参考資料】

(一例) ※ あくまで一例です！！

G p 戦						
審判の種類	氏	得点区分	A 選手	B 選手	C 選手	D 選手
技術	国内審判 A	技術	1	2	3	4
	国内審判 B	技術	2	1	3	4
	得点3倍 (小計)	技術	9	9	18	24
技術・魅力度	海外審判 C 得点等倍	技術	1	2	4	3
		魅力度	2	3	4	1
魅力度	外部審判 D 得点2倍 (小計)	魅力度	4	1	2	3
		魅力度	8	2	4	6
総計		技術	10	11	22	27
		魅力度	10	5	8	7
		総得点	20	16	30	34
		順位	2	1	4	3

決勝戦						
審判の種類	氏	得点区分	B 選手	E 選手	F 選手	G 選手
技術	国内審判 A	技術	1	2	3	4
	国内審判 B	技術	2	1	3	4
	国内審判 C	技術	3	1	4	2
	国内審判 D	技術	2	3	1	4
	得点3倍 (小計)	技術	24	21	33	42
技術・魅力度	海外審判 E	技術	1	2	4	3
		魅力度	2	3	4	1
	海外審判 F	技術	3	2	1	4
		魅力度	3	4	1	2
魅力度	得点等倍 小計	技術	4	4	5	7
		魅力度	5	7	5	3
		外部審判 G	魅力度	4	1	3
魅力度	外部審判 H 得点2倍 小計	魅力度	3	2	4	1
		魅力度	14	6	14	6
		技術	28	25	38	49
総計		魅力度	19	13	19	9
		総得点	47	38	57	58
		順位	2	1	3	4